

職場問題を解決しよう！シリーズ⑥

何が熱中症対策だ！ 乗務員職場では、何をしていると言うのだ！

JR東海では、7月18日より夏季安全輸送期間に入りました。日本列島は、7月に入り、ところによっては気温39度を観測するなど猛暑が続いています。このような中、熱中症対策として管理者からは、勤務時間内においても十分な水分補給をするように指示されています。

ところで、乗務員職場においては、いったいどんな対策を行っているのでしょうか？ 会社は、乗務員は空調の効いているところで業務しているから「熱中症対策なんて必要ない」とでも考えているのでしょうか？ もしそのように考えているとしたらとんでもないことです。乗務員であっても決して熱中症とは無縁ではありません。特に新幹線の乗務員は、どんなに暑くてもネクタイと上着の着用が義務づけられています。夏休みで混雑する車内や、炎天下の構内でも汗だくになって働かざるを得ない状況です。これでは「お客様」に不快感を与えてしまうどころか、いつ熱中症になってもおかしくありません。さらに、一方的な休日出勤が指定され、十分な休養もとれない状況です。

皆さん！このような状況を放置したら、身も心もボロボロにされてしまいます。ボロ雑巾のように使い捨てられる前にみんなで声を上げていきましょう！

車両所では「熱中鈴」、駅では「水」と「お茶」！乗務員は？
**盛夏では、乗務員の
ネクタイ・上着を省略すべきだ！**